

稲作管理情報（中生品種の収穫）

中生品種（コシヒカリや富富富など）は、出穂期が平年に比べ早く、コシヒカリ（-5日）、富富富（-1日）ともに早くなっていました。出穂直後の登熟初期が高温であったため、胴割米の発生が懸念されます。適切な水管理を行うとともに刈り遅れにならないようにしましょう！

収穫までの水管理

- ・刈取り 5～7 日前まで間断かん水を行い、稲体の活力を維持しましょう。
- ・フェーンが予想される場合は、事前に入水しましょう。

収穫時期

- ・ほ場ごとに籾の黄化状況を確認し、籾黄化率 80%を目安に収穫を開始しましょう。
- ・収穫時期は、地域の刈取標準田（立て札）を参考にしましょう。
- ・葉色が淡いほ場や枯れ上がりの早いほ場は、早めに刈り取りましょう。

表 1 収穫時期の目安

品 種	田 植 日	出 穂 期	刈取開始予想（積算温度） 籾黄化率 80%頃
コシヒカリ	5 月 13 日	7 月 26 日頃	8 月 31 日頃（950℃）
富富富	5 月 14 日	8 月 2 日頃	9 月 12 日頃（1050℃）

※収穫適期は出穂期からの積算気温（8/19 以降は平年+1℃）で予想しています

収穫作業



- ・脱ぷ米の発生を防ぐため、朝露が完全に落ちてから収穫作業を開始しましょう。
- ・収穫前にクサネム(種の混入)やヒエなどの雑草は予め抜き取りましょう。
- ・ヤケ米発生防止のため、収穫した生籾は、収穫後 4 時間以内に乾燥機に入れ送風しましょう。
- ・品種が変わるごとに清掃を徹底し、異品種の混入防止に努めましょう。

乾燥・調製

～籾水分に応じた作業で胴割米の発生を防止～

1 乾燥作業のポイント

(1) 胴割米の発生を防ぐため、籾を張り込んだ最初の 2 時間は通風乾燥し、水分ムラをなくして、その後の乾燥速度は 0.5%/h 以内としてゆっくり乾燥しましょう。

(2) 張込時の籾水分を確認し、25%以上または20%未満の場合(表2)を参考にして作業しましょう。

表2 張込時の籾水分と乾燥作業の目安

張込時の籾水分	乾燥作業の注意点
25%以上	・籾水分ムラを少なくするため、2～3時間の通風乾燥後に、送風温度45℃以下で乾燥する。 ・籾水分17%程度で一度乾燥を止め、半日程度おいた後に再乾燥（二段乾燥）を実施する。
20%未満	・立毛中の胴割米の混入が懸念されるため、送風温度を機種標準温度より5℃低くする。

(3) 子実水分が17%以下になったら、15～20分間隔で手動水分計にて水分を確認し、14.5%～15.0%に仕上げましょう。

(4) 青米の混入程度を確認して、**表3 乾燥機停止水分の目安**

乾燥機の停止水分を決めましょう。(表3)

玄米100粒中の青米粒数	乾燥機停止時の玄米水分	乾燥機停止後の水分変化
5粒以下	15.0～15.5%	乾く(－0.5%)
6～10粒	14.5～15.0%	変化なし
11粒以上	14.0～14.5%	もどる(＋0.5%)

2 調製作業のポイント

- (1) 籾すりは、籾温度を常温に下げてから行いましょう。
- (2) ゴムロールが劣化や減耗していないか、ゴムロールの間隔が適正かを必ず確認しましょう。
- (3) 1.9mmの網目を使用し、適正流量で確実に屑米を除去しましょう。
- (4) 掛重量が30.5kgに正しくセットされているかを事前に確認しましょう。



農作業事故防止・熱中症対策

- ・コンバインを点検し安全で計画的な収穫作業を実施しましょう。
- ・エンジン始動時、作業部のクラッチを入れるときは安全確認を行いましょう。
- ・始動時は、**変速が中立である**こと、**各作業クラッチがOFFになっている**ことを確認しましょう。
- ・補助者にも機械が動き始めることを知らせ、補助者からの合図を得てから動かしましょう。
- ・わらづまりの除去は、**エンジンを停止**してから行いましょう。
- ・作業着は、衣服が巻き込まれないよう、袖口が締まった衣服を着用しましょう。
- ・搬入路がわかるように、除草を徹底し、最低速度で慎重に操作し、転倒防止に努めましょう。
- ・暑い日中での作業となりますので、**熱中症対策を十分行いましょう。**

○令和8年 JA 高岡 「営農記録ノート」P38～41 を参考にしてください。
○ご不明な点は JA 高岡 担当営農指導員 または 高岡農林振興センター 高岡班(26-8477) までお尋ねください。